

∞ Infinite Potential of SSH ∞

無限の可能性を秘めた SSH の今をお伝えします

☆ 2013年の暑い夏も、やっぱり SSH!! ☆

さあ、暑い暑い夏がやってきました。皆さんの様子を見てみると、すでに夏バテ気味ですが、祥雲館 SSH はどんどん熱く盛り上がります。スイカとかき氷で頭を冷やし、自然科学という海原へ泳ぎ出しましょう。以下に、夏のプログラムをご紹介します。(藤原一彦、長尾浩平)

① 西オーストラリア州科学研修

昨年度までの NASA 海外研修に代わって、本年度は西オーストラリア州科学研修が行われます。7月24日～8月6日まで、2週間にわたり西オーストラリア州立大学と連携し、天文学や資源・エネルギー学の研究を行います。その間には語学研修も積み重ねながら、現地高校生との共同研究も予定されており、充実したプログラムが組まれています。また、ホームステイを通して現地の方々と交流を深め生きた英語に触れてきます。そんなワクワクするような研修に2年次理系生徒8名が参加することになっていて、すでに事前研修も始まっています。そこで、オーストラリアへ出発する日を心待ちにしている参加生徒 A 君、B 君、C 君にインタビューしてみました。

Q 海外へ行くのは初めてですか？

生徒 A「ハイ。」生徒 B「ハイ。」

世界一美しい

生徒 C「6回目です。」

パースの街並み →

Q どんなことを勉強したいですか？

生徒 C「実践的な英語を学んだり、オーストラリアで採れる
ボーキサイト・鉄鉱石・オパールを見てきたいです。」

Q 何が一番楽しみですか？

生徒 A「ホストファミリーと過ごすことです。」生徒 B「初めての海外でオーストラリアの文化に触れることです。」

Q 不安や心配事がありますか？

生徒 A「ものすごく心配です。」

生徒 C「飛行機が落ちないか心配です。あと、海に入ったとき、サメに襲われないか心配です。」



それぞれ、いろんな思いで研修を待っているようです。祥雲生としての自覚をもって、思い切り活動してきて下さい。参加する8名がどんな表情で帰国してくれるのか今から楽しみです。たくさんのお土産話が聞けることを待っています。

② SSH 生徒研究発表会 in パシフィコ横浜

8月6～8日、パシフィコ横浜で SSH 生徒研究発表会が開催されます。全国の SSH 指定校から各校の代表生徒が集まり、それぞれの研究を披露する大きな大会です。祥雲館は過去の発表会において、平成23年度：口頭発表文部科学大臣賞・ポスター発表賞、平成24年度：ポスター発表賞・ポスター発表生徒投票賞を受賞するなど、この全国的な大会で大活躍してきました。本年度は、井關先生のゼミから3年次生4人が、祥雲館の代表として参加します。井關先生と参加する生徒の皆さんに意気込みを聞いてきました(下)。参加される皆さん、自分たちの研究に自信をもって精一杯発表してきて下さいね。研究内容は「コオロギの視覚誘発性触角指示行動」です。頑張り、祥雲館!!

☆ 井關先生 ☆

今年も暑い(熱い)夏がやってきました。今年はゼミⅡ生体調節講座から「チーム強酸」リケジョ4名が「横浜」に挑みます。「ポスター発表賞3年連続はありえへん」という声もあるなか「わざわざ横浜まで出かけて行くのに手ぶらで帰りたくねえなあ…」という気も。まだ部活の大会が残っているメンバーもあり、また受験勉強も忙しく十分な練習ができずに臨むこととなりますが、できる限りのことはやっつけようと思っています。当日私は見ているだけです…6.5時間にわたる発表時間、誇りをかけて闘え!!

☆ Mさん ☆

今回、私たちが約一年間頑張ってきたコオロギの研究内容を、このような大きな舞台上で発表できることがとても嬉しいです。最初は、皆がコオロギに触れることすらできず、この先、研究なんてできるのかとても心配でしたが、時間が経つにつれコオロギへの抵抗もなくなり、研究を最後までやり遂げることができました。実験がこんなにも大成功したのはいつも優しく指導をして下さった先生方や暑い日も寒い日もコオロギの世話を頑張った同じゼミの仲間たちのおかげだと思います。横浜では祥雲館の代表として恥ずかしくないように精一杯頑張ってきます。応援よろしくをお願いします。

☆ Kさん ☆

私たちはゼミⅡでコオロギの触角指示行動について研究してきました。「コオロギ」と聞くと、気持ち悪いと感じる人が多いと思いますが、そんなことはありません。とても可愛く実験を重ねるにつれて愛着心が湧いてきました。コオロギも生物なので、思い通りに実験が進まず立ち止まり、悩んだこともありましたが、長期休暇中も学校へ来て実験を重ねてきました。横浜では、ゼミ活動の集大成として私たちらしく元気に笑顔で発表してきます。

☆ Nさん ☆

約一年間、井關先生と共にチーム全員で協力して行ったコオロギの触角指示行動についての研究を、全国大会という場で多くのSSH指定校の代表者の一人として発表できることがとても嬉しいです。コオロギへの愛があれば六時間半の発表時間もあっという間だと思います。祥雲館の代表として、恥を忘れ、全力でコオロギになりきり元気に発表してきます。当日までドキドキの私たちですが、「コオロギって可愛いね。」の一言を添えて是非一声応援よろしくをお願いします。

☆ Mさん ☆

私たちはコオロギが(井關先生も)大好きです。今回、コオロギへの愛を祥雲館高校代表として全国の高校生に伝えられることをとても嬉しく思っています。私たちは約一年間コオロギの世話をしながら、コオロギの触角指示行動について研究をしてきました。当日は、発表時間が六時間半という長丁場ですが、私たちはコオロギのことなら何時間でも話せます。横浜ではコオロギの触角指示行動について研究したことと共に、コオロギが可愛いこと、コオロギが素敵な生き物だということを伝えるに行ってきます。応援よろしくをお願いします。



③ 自然科学への誘い「ひととはく連携講座」

自然科学への誘いがいよいよスタートしました。7月17日(水)にマルチメディア教室で行われた事前学習会では、人と自然の博物館の先生から受け取った宿題に取り組みました。

専門的な内容を含んでいましたが、全員、インターネットを利用して夢中で調べ、かなり高度なレポートを完成させている人もあり、これから始まる「ひととはく連携セミナー」に向けて、その取り組む姿勢が頼もしく感じられました。



調べ学習の様子

④ 科学交流合宿研修会 in 武庫川女子大附属高校

昨年度に引き続き7月22日(月)~23日(水)に武庫川女子大学附属中学校・高等学校で科学交流合宿研修会が開催されます。今年度は1年次生5名が参加します。この交流合宿では、実際に、大阪大学や神戸大学などの研究室に行き、研究をします。もちろん、大学教授や大学院生に指導してもらいながら。そして、実験結果をまとめ全員の前でプレゼンします。そんな体験ができる素敵なプログラムです。参加する皆さんは積極的に活動して、学校では学べない多くのことを体験して下さいね。



昨年度のプレゼンの様子